

## 会議録

会議の名称	令和3年度 第2回別府市公共交通活性化協議会
開催日時	令和3年12月15日(木) 14:00~15:15
開催場所	別府市役所 5階 大会議室
出席者	別添名簿参照
<p>《会議の内容》</p> <p>議事内容が別府市地域公共交通計画策定に係る途中経過のものであり、未公表事項を含むため別府市公共交通活性化協議会設置規約第7条第5項の規定に基づき、非公開とする。</p> <p>1 議案</p> <p>(1) 委員の交代について(報告)</p> <p>(事務局説明) 別府市身体障害者福祉団体協議会、福島文男委員から河野龍児委員に交代。</p> <p>(質疑応答) 特になし。</p> <p>(2) 別府市地域公共交通計画策定調査業務の利用実態調査結果について(報告)</p> <p>(事務局説明) 市民アンケート調査、主要施設ヒアリング調査、路線バス乗降調査、ICカード分析調査等の結果について報告。</p> <p>(質疑応答) 議案(3)と一括で説明後質疑応答実施。</p> <p>(3) 調査結果からみる課題・方向性について</p> <p>(事務局説明) 計画の概要、公共交通を取り巻く現状と課題、前計画に基づく取組の評価、取組の方向性(案)について説明。</p> <p>(質疑応答) 以下のとおり</p> <p>(委員) 行動分析について、人口が極めて少ない地域もあるため、人口の割合で示すと、実態と乖離する恐れがある。現在の表記方法のほかに何かいい方法はないか。</p> <p>(事務局) ご指摘のとおりであり、対応検討したい。</p> <p>(委員) 今回調査策定中の地域公共交通計画後のアクションプランである地域公共交通利便増進実施計画があり、該当事業を利便増</p>	

進実施事業として明記しておいた方がよく、国の認定を受ければ補助がつく。

(事務局) コロナ禍の状態に合わせて利便増進実施計画を立てるとコロナ後の実態と乖離する恐れがあるとの事業者ご意見がある事から、コロナ収束後の利用実態をしっかりと見て状況に合わせてながら検討していきたい。

(委員) 素案、取組の方向性(案)の基本的な考え方の記載順について

- ①【持続可能な“コンパクトまちづくり”を支える公共交通ネットワークの構築】
- ②【市全体を見渡した公共交通相互の役割分担・連携】
- ③【多様な交通サービスの組合せ】
- ④【“地域全体”で公共交通を支えるための多様な関係者との連携】

から

- ①【市全体を見渡した公共交通相互の役割分担・連携】
- ②【“地域全体”で公共交通を支えるための多様な関係者との連携】
- ③【持続可能な“コンパクトまちづくり”を支える公共交通ネットワークの構築】
- ④【多様な交通サービスの組合せ】

の身近なものからの順に変更した方が分かりやすいのではないかな。

また同様に、「利用しやすく持続可能な市内ネットワークの最適化」項目の【行政・交通事業者の連携協強化を図る専門部会】は項目の一番下で良いのではないかな。

行政視点よりも市民視点の内容にした方が良い。

(事務局) ご指摘のとおりであり、対応したい。

(委員) 計画の目標や KPI や具体的な事業に対しては次回以降協議という認識で良いのか。

(事務局) ご認識の通り、KPI の詳細や評価について次回協議会において説明する予定である。

(協議結果) 原案のとおり承認。

#### (4) 事業スケジュールの変更について

(事務局説明) 新型コロナウイルス感染症第 5 波の影響を受け一部調査業務を延期したことで、その後のスケジュールに余裕がなくなった。当初の予定通り 2 月に策定することは可能であるが、具体的な施策の検討や交通事業者との確認等を十分行い、より良い計画にするために、事業スケジュールを 3 カ月延長し、手続き等については大分運輸支局に確認を取りながら、令和 4 年 6 月末策定とスケジュールを変更したい。

(質疑応答) 特になし。

(協議結果) 原案のとおり承認

## 2 その他

各事業者から現況報告。

次回協議会開催は 3 月の予定。